



連携事例13

R5.8 更新

多世代交流拠点「おおなみ・こなみ」運営事業

～こどもからお年寄りまで…地域に密着したコミュニティスペース～

■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

■事業運営団体

認定 NPO 法人ちば市民活動・
市民事業サポートクラブ

■協働パートナー

☆検見川商工振興会
☆市立検見川小学校 ☆検見川町内会
☆検見川社協地区部会 ☆生活クラブ生協
☆あんしんケアセンター花園 ☆千葉市

■事業費 108 万円

■資金調達手段

寄附・利用料等受益者負担・
運営団体負担・その他



事業概要

「多様な世代が交流し、市民一人ひとりが持つ能力を活用し合うことで困難を解決すること」を目的に、常設の地域交流拠点を設置し、健康づくり、介護予防や食育、子育てをテーマにした講座の開催や「認知症カフェ」等を実施しています。施設内には、子育て支援コーナーとして、絵本やおもちゃを備えた「おやこカフェけみがわ」も設置しています。

○協働までの経緯

少子高齢化、核家族化が進み、地域交流拠点（コミュニティカフェ）の果たす役割について議論されることが多くなる中、中間支援組織として市民・団体による地域の課題解決のための活動や事業を支援する市民活動・市民事業サポートクラブ（通称「NPO クラブ」）が、これまでの活動で得られたネットワークやノウハウを活かした拠点運営ができればと事業を始めました。

地域交流拠点の場所の選定に際しては、町会や事業者・社会福祉協議会等、連携がイメージできること、NPO クラブの事務所に近いことを重視し、検見川を候補としました。そして、「地元の人に聞くことが近道」と考え、検見川商工振興会に事業趣旨を伝えたところ、京成検見川駅前の商店街の空き店舗で活用できそうな場所を推薦してもらっています。

検見川商工振興会は、町会や地区社協、学校等と連携し、多世代交流、地域活性化を目的としたイベント「やあびな」を17年連続で実施しています。交流拠点「おおなみ・こなみ」のオープンに際し、「やあびな」実行委員会や当日の出展を通して、小学校や地区社協、町会の役員等とのつながりができています。

また、検見川小学校や町会に、事業主旨、事業内容を伝え、おおなみこなみの企画を掲載した「おたより」の配布、回覧協力を得ています。

○主な事業内容(年間スケジュール等)

- ① 『ミニ講座』の開催（週に4回程度、5～14名/回の参加）/健康体操、歴史講座、英会話講座
- ② サークル運営/編み物サークル、折り紙サークルの運営
- ③ 交流企画の実施（各2回/年）/「青空市」、ミニコンサート等
- ③ 「認知症カフェ」の開催（月1回）
- ④ スペース利用/個人講師が主催する子育て支援講座、食育講座、子ども向け英会話等の開催場所を提

供する（スペース利用）とともに、「おたより」に情報を掲載しています。

- ⑤障害者福祉事業所の物品の販売とリサイクル衣料の販売/県内5事業所の物品の販売を通して障害者福祉事業所への理解と支援を目的にし、物品を販売。また、リサイクル衣料の回収や販売を通して、パキスタンの支援を行っている JFSA（日本ファイバーリサイクル連帯協議会）の活動を支援しています。
- ⑥『おやこカフェけみがわ』の運営/絵本やおもちゃ（寄付）、ベビーベッドを設置した子育て支援コーナーを運営しています。

📍 主な協働パートナーとの役割分担

- 【商工振興会】
運営についての助言
- 【検見川町内会】
運営についての助言、回覧板での広報協力
- 【小学校】
運営についての助言、チラシの配布等の広報協力
- 【あんしんケアセンター花園】
認知症カフェ運営支援、講師の派遣

📍 協働事業によって生まれた成果

- 世代を越えた交流が少しずつ実現できています。
- 子育て世代、幼児・小学生、高齢世代、それぞれの状況に対応した場づくり、情報提供ができました。
- 福祉事業所の物品や JFSA のリサイクル衣料の販売は各団体の支援につながっています。

📍 今後力を入れていきたいこと

- これまで以上に、地域の課題（ニーズ）に沿った事業実施を目指して、町会役員や民生委員との話し合いを進めます。
- 活動実績を踏まえ、学習支援・介護予防等、地域のニーズや社会状況に沿った形での事業運営を目指します。
- 個人で講座事業等を行っている事業家を支援するとともに、おおなみなみを拠点として活動するグループ、団体の立ち上げを支援します。

♡ コラボのコツ!!

○地域の集まり等の機会を見つけ参加し、地域の
方々の懐に飛び込む

○講座の講師を県内で活動する NPO や地域の事
業者に依頼

NPO・町会役員・民生委員・地域の商店主・学校等、それぞれの特性、強みを生かすため、NPOの専門性を押し付けず、まず、地域の人たちと話をすることから始めました。互いに今やっていることを認め合い、それをベースに新たな取組みを一緒に考えることを心がけています。

また、ミニ講座の講師を県内で活動する NPO や地域の事業者に依頼することで、それぞれの特性を活かした地域づくりや地域の連携・活性化につながるような講座内容を目指しています。



協働事例プロフィール

【活動開始年】平成10年 【活動のPR手法】<http://npoclub.com/>

【この事業で活用した補助金】県民活動促進事業（新しい公共支援事業）（H23・24）他

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】①〈多世代交流拠点事業〉朝日新聞・読売新聞 H26、地域新聞（タウン紙）H28

②〈東日本大震災被災地・被災者支援活動〉東京新聞、地域新聞（タウン紙 H26

【問い合わせ先】担当者：NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋 洋子

電話番号：043-303-1688 メールアドレス：npoclub@par.odn.ne.jp